

岩沼市教育委員会
点検・評価報告書
(令和6年度実績)

岩沼市教育委員会

目 次

I 点検・評価の概要	1
1 本報告書について	
2 点検・評価実施内容	
II 教育委員会の会議等活動状況	2
1 教育委員会の会議の開催状況	
2 総合教育会議の開催状況	
3 教育機関訪問	
III 事務事業の実施状況・点検・評価	4
岩沼市教育基本方針	4
「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業	5
「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業	13
「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業	16
IV 学識経験者の意見	20

I 点検・評価の概要

1 本報告書について

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、岩沼市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、その結果をまとめたものです。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価実施内容

岩沼市教育重点目標に基づいて令和6年度に実施した主な事務事業の執行状況について、教育委員会において点検・評価を行いました。

その後、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）について、学識経験者2名の方から御意見をいただき、あらためて各事務事業を検証しました。

御意見をいただいた学識経験者

柄 澤 一 彦 氏（元公立小学校長）

山 内 紀 子 氏（元公立小学校長）

II 教育委員会の会議等活動状況

○教育長・教育委員（令和6年度在籍）

職名	氏名	備考
教育長	及川浩市	(R5.10.1～)
教育長職務代理者	佐藤雅晴	(H29.10.1～R6.10.8) (委員 H4.10.9～R6.10.8)
教育長職務代理者	南舘公雄	(R6.10.9～) (委員 H26.11.1～)
委員	小林修子	(H24.10.9～R6.10.8)
委員	山田芳弘	(R6.10.9～)
委員	江里美穂子	(R6.10.9～)
委員	木村紀子	(R5.10.4～)

1 教育委員会の会議の開催状況

岩沼市教育委員会会議規則（昭和55年教育委員会規則第2号）第4条の規定により、定例会を毎月1回、臨時会を必要に応じて開催しています。令和6年度は、12回の会議を開催し、22件の議案を審議し、1件の事案を協議しました。

開催期日・会議	議案番号	内容
令和6年 4月25日(木) 定例会	第7号	学校医、学校歯科校医及び学校薬剤師の委嘱について
5月16日(木) 定例会	第8号	岩沼市社会教育委員の委嘱について
	第9号	岩沼市文化財保護委員の委嘱について
	第10号	岩沼市青少年室運営協議会委員の委嘱について
	第11号	岩沼市青少年室青少年相談員の委嘱について
	第12号	岩沼市民図書館運営協議会委員の委嘱について
	第13号	岩沼市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
	第14号	岩沼市障害児就学指導審議会委員の委嘱について
	第15号	岩沼市いじめ問題対策推進委員の委嘱について
6月13日(木) 定例会	第16号	岩沼市特別支援連携協議会委員の委嘱について
	第17号	岩沼市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
	第18号	岩沼市学校給食運営協議会委員の委嘱について

開催期日・会議	議案番号	内 容
7月4日(木) 定例会	第19号	令和7年度使用教科用図書採択希望について
8月22日(木) 定例会	第20号 第21号	令和7年度使用教科用図書の採択について 岩沼市教育委員会点検・評価報告書（令和5年度実績）について
9月26日(木) 定例会		(報告事項のみ)
10月24日(木) 定例会		(報告事項のみ)
11月7日(木) 定例会	第22号	令和7年度岩沼市教育費予算（案）について
12月19日(木) 定例会		(報告事項のみ)
令和7年 1月16日(木) 定例会	協議	岩沼市教育基本方針及び令和7年度岩沼市教育目標について
2月10日(月) 定例会	第1号	岩沼市教育委員会行政組織規則等の一部改正について
	第2号	岩沼市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
	第3号	岩沼市教育基本方針及び令和7年度岩沼市教育目標について
	第4号	県費教職員の任免等の内申について
3月7日(木) 定例会	第5号	伊達政宗騎馬石膏像の岩沼市有形文化財指定について
	第6号	岩沼市民図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
	第7号	市職員（管理職）の人事異動について

2 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会により、総合教育会議を開催しております。令和6年度は、1回の会議を開催し、1件の議題について話し合われました。

開催期日	協議事項
令和6年12月19日(木)	子ども達の学力向上について

Ⅲ 事務事業の実施状況・点検・評価

点検・評価の対象とした事務事業は、令和6年度岩沼市教育基本方針の3つの分野における目標として掲げた下記の10項目としました。それぞれの実施状況について記載し、基本方針ごとに点検・評価を行いました。

岩沼市教育基本方針

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな人間の形成と、明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」

「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」

を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

令和6年度岩沼市教育目標

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」

- 1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり
- 2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成
- 3 学びの多様化に応じたきめ細やかな教育の推進
- 4 魅力ある教育環境づくり

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」

- 1 生涯学習推進体制の整備
- 2 生涯にわたる学習機会の充実
- 3 社会教育施設の有効活用

「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」

- 1 芸術文化活動の推進
- 2 文化財の保護と活用の推進
- 3 生涯スポーツの振興

たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり

(1) 学力向上の着実な推進

- ① 学びの個別最適化と協働的な学びによるきめ細やかな指導の推進
 - 教職員研修会（全教職員対象）、校長会議及び教頭会議、各担当者会で指示（小中学校学習支援事業）
 - 学校指導助手19名 特別支援教育支援員13名 を配置（只野文哉先生小中学校科学技術奨励事業）（副読本作成・配付事業）
 - 理科大好きツアー：学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2024 に参加
参加者48人（7月）
 - 只野文哉記念科学技術奨励事業科学技術作品展：市民図書館にて開催
作品数59点（10月）
 - 副読本「わたしたちの岩沼」：小学3・4年生に配布
 - 副読本「岩沼の自然」デジタル版公開

② 全国学力・学習状況調査や各種調査結果に基づく授業改善

教科全体の平均正答率比較（2024年度 全国学力・学習状況調査結果から）

校種・学年	教科	岩沼市	宮城県	宮城県	仙台市	全国
			仙台市を除く	仙台市を含む		
小学校 第6学年	国語	67	65	66	67	67.7
	算数	58	57	59	62	63.4
中学校 第3学年	国語	55	55	57	61	58.1
	数学	50	46	51	56	52.5

全国学力・学習状況調査では、仙台市を除く宮城県平均を上回る結果が得られている。学力の三要素のうち「思考力・判断力・表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」については全国平均を上回った。「知識・技能」については伸張の余地があり、今後は学力の三要素全てにおいて全国平均以上を目指す。

- 教務主任者会・研究主任者会で指示

③ 学習習慣の確立と自律した学びへの転換

（学力向上推進事業）

- 「家庭学習の手引ー根を養えばー」（小学校）：デジタル版公開
- 「家庭学習の手引ー未来を拓く子どものためにー」（中学校）：デジタル版公開
- デジタルドリルの導入
- 岩沼学び塾：放課後及び夏季・冬季休業期間に実施 開催回数 216回
支援を受けた児童生徒数 延べ 3,574人、参加支援者数 延べ 746人

小学校会場では「分からないところが分かるようになった」という回答が参加児童の90%から得られた。

中学校会場では「分からないところが少なくなった」という回答が参加生徒の5割を超え、「学習の仕方が分かるようになった」「学習が楽しくなった」との前向きな回答も数多く得られた。また、家庭学習時間2時間以上の回答が、前期学び塾13.3%、後期学び塾29.2%と増加し、学び塾に参加することで一定時間の家庭学習をする習慣が身に付いた生徒も多い。

④ 校内研究や教職員研修の充実

(教育指導支援事業)

- 校内研究充実支援事業：指導主事・教育指導専門監による学校訪問指導 49回
- 初任層支援事業：教職経験5年目までの教員を対象とした教育指導専門監による学校訪問指導 16回
- 市内相互授業参観：学校の枠を越えて研究授業を参観し合う機会の確保
- 授業づくりBasicガイド：教育指導専門監監修による指導書の配付
- 教職員研修会（全教職員対象） 1回
- 各種研修会：初任者研修会、教務主任者研修会、研究主任者研修会、講師研修会、学校指導助手研修会、いわすた（情報化推進リーダー）研修会、養護教諭部会研修会、栄養士部会研修会、学校図書館職員研修会 等

(2) 夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開

① 学校の実態に応じた教育課程の編成と評価活動の推進

- 教務主任者会・研究主任者会で指示

② 子どもの未来を広げる学校づくり推進事業の充実

(子どもの未来を広げる学校づくり推進事業)

○小中学校の創造的で特色ある教育活動を展開する事業に計7,775,578円の助成(ユニーク先生活用事業)(運動体力向上事業)

- 各小中学校の特色を生かし、多様な講師を招聘した授業を展開

岩小「おはなしの会、琴演奏会、盲導犬キャラバン、体育学習」

玉小「稲作から学ぼう、玉浦の未来を考えよう、金属コマ作り体験、跳び箱指導」

西小「読み聞かせ会、クラブ活動指導、音楽鑑賞・実技教室、昔の遊び体験、
琴の体験学習、跳び箱指導」

南小「金属コマ作り体験、ダンス・運動教室」

岩中「いじめ防止講話、防災教室、異文化理解講話、進路講話、ダンス指導」

玉中「いじめ予防教室、書きぞめ教室、体力向上トレーニング」

北中「『自分の短所は魅力に変わる！クラウン（道化師）に学ぶ笑顔のヒント』、
剣道指導」

西中「書き初め指導、剣道指導」

- ③ 志教育の充実による適切な進路指導及び地域と連携したキャリア教育の推進
(ユニーク先生活用事業) (夢☆あこがれプロジェクト事業)
 - 多様な講師を招聘した授業を展開 (地元企業、福祉団体、農業体験等)
 - ベガルタ仙台の公式試合観戦 (市内小学生と保護者：10月)
 - 西村まさ彦氏 (俳優) による講演 (岩中・3月)

(3) 伝統・文化の尊重と国際理解をはぐくむ教育の推進

- ① 環境教育・ふるさと教育の推進
(子どもの未来を広げる学校づくり推進事業) (生涯学習推進事業)
 - 小中学校へ計 7,775,578 円の助成
 - 給食で岩沼産りんごを使ったゼリーの提供 (11月：令和3年度より実施)
 - 里山体験学習の開催 (岩小4年生、岩小・玉小・西小・南小1年生)
 - ふるさとの味、はらこ飯を味わおう！の開催 (南小6年生)
 - 二木の松俳句大会の開催 (小学5年生～中学2年生対象) 出展作品数 1,301 点
- ② 国際理解教育の推進
- ③ 外国語活動及び外国語教育の充実
(外国語指導助手招致事業)
 - 外国語指導助手 (ALT) 6名配置
 - 中学生イングリッシュ・キャンプ (7月)
 - 小学生イングリッシュ・キャンプ (10月)
 - デジタル教材による個別最適な学び

(4) 教職員の資質・能力の向上

- ① 学校経営研修の充実
 - 教職員研修会 (全教職員対象) 1回開催 (5月)
 - 小中学校校長会議及び教頭会議を毎月開催
- ② 若手教員の学びの場の提供
 - 志高研修会「いわキャン」 (8月)
 - 教育指導専門監による初任者層授業参観指導 16回
- ③ ICT 教育研修の充実及び専門支援員の活用
 - いわすた (情報化推進リーダー) 研修会 4回開催
 - リーディングDX事業 GIGA 担当者研修会 (7月)
- ④ 職能に応じた研修会の開催
 - 教務・研究主任者研修会 8回開催 (教務4回、研究3回、合同1回)
 - 講師・学校指導助手研修会 4回開催 (講師1回、指導2回、合同1回)

○特別支援教育コーディネーター研修会 2回開催

2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成

(1) 自他の命と人権を大切にし、思いやりやいたわりの心をはぐくむ道德教育の推進

(教育指導支援事業)

- 学校訪問において、道德の授業に対する指導助言
- 初任者層を対象にした、実践的道德教育力の育成とより良い授業づくりのための支援
- 校長と道德教育に関する情報交換及び校長への助言

(2) いじめ防止対策の推進

- いじめ問題対策推進委員会 2回開催
- いじめ問題対策連絡協議会 2回開催

(3) 一人ひとりを大切にしたい生徒指導及び心のケアの充実

(小中学校学習支援事業)(学びの多様化に係る運営事業)

- スクールカウンセラーの配置(市内全小中学校)
- スクールソーシャルワーカーの配置(拠点校:岩中)
- いわぬま子どもの心のケアハウス「あいるーむ」の設置(令和元年7月～)
- 岩沼北中学校及び岩沼西中学校に学び支援教室「ほっとルーム」の設置(北中:令和4年4月～、西中:令和3年4月～)

(4) 安全指導の充実及び防災教育の推進

- 学校危機管理委員会の開催 3回開催
- 通学路等安全対策推進会議 2回開催

(5) 望ましい生活習慣の育成及び食育の推進

- いわぬま健幸運動を小中学校にて実施(6月・1月)
- 早寝早起き朝ご飯啓発活動(市内4小1年生:7月・8月)
- いわぬま食育ウィークの実施(11月)
- 学校給食運営協議会の開催 1回開催
- 学校給食用牛乳の風味異常に伴う対応(4月26日～7月19日)
牛乳の提供を停止、代替品(乳酸菌飲料、チーズ等)の提供
(4月26日～5月19日・学校毎に順に提供再開)
※検査結果:異常確認されず(仙台市保健所・東北森永乳業(株))
通常の校長による給食検食に加え、2名の職員が牛乳の風味確認
(牛乳の提供再開後～7月19日)

(6) 体力・運動能力の向上と健康教育の推進

(運動体力向上事業) (スポーツ振興事業) (小中学校保健事業)

- 夢あこがれ支援事業及び運動体力向上事業として小中学校に助成
- 健康診断の実施
- 平日の運動部活動支援 (派遣型・拠点型)
- 休日の部活動の段階的な地域移行の取組
 - 令和5年度から実施 陸上、バドミントン、卓球
 - 令和6年度から実施 野球、サッカー、バスケットボール
- 岩沼市学校保健会へ補助 450,000 円

(7) 相互理解を図るコミュニケーション能力の育成

- ICT 機器を活用しつつ、話し合い活動の仕方を身につけ、自主的・自発的な態度や互いの考えを尊重し合うことを重視した活動実践
- 異学年交流、地域の方や ALT、他学校交流等、様々な方々との交流活動
- 岩沼市プレゼンテーションコンクールの開催 (9月)
 - ※全国プレゼンテーションコンクール (公) パナソニック教育財団) にて奨励賞受賞

3 学びの多様化に応じたきめ細やかな教育の推進

(1) 一人ひとりのニーズに応じた教育の充実

(個別の支援計画及び適切な就学指導)

- 個別の支援計画作成率 100%
- 障害児就学指導審議会 5回開催

(特別支援教育総合推進事業)

- 特別支援連携協議会 2回開催 (7月・1月)
- コーディネーター等連絡会 2回開催 (7月・12月)
- 特別支援教育研修会 1回開催 (12月)

(2) 学校指導助手及び特別支援教育支援員の適正配置

(小中学校学習支援事業)

- 学校指導助手19名 特別支援教育支援員13名 を配置

(3) 発達障害に関する知識と対応の充実

(コーディネーター等連絡会及び研修会)

- 社会福祉課と連携した研修会の開催 (12月)

(4) 教育相談体制の充実

(不登校やいじめ、その他の課題、災害時及びその後の社会環境変化に対する心のケアの充実)

(小中学校学習支援事業) (青少年室相談事業)

- スクールカウンセラーを全小中学校へ配置
相談件数 1,968 回（支援児童生徒数 2,308 人）
- スクールソーシャルワーカーを岩中（拠点校）へ配置
相談件数 955 件（支援児童生徒数 121 人）
- 翌年度就学児童を対象とした就学相談会の実施（8月）
- 青少年室・教育相談センターでの相談対応 相談件数 162 件

（５）不登校児童生徒に対する支援体制の充実

（多様な学びの場の構築と保護者への情報提供により社会的自立を支援）

（学びの多様化に係る運営事業）

- いわぬま子どもの心のケアハウス「あいるーむ」の設置
通所支援、学校訪問支援、教育相談の実施
- 岩沼北中学校及び岩沼西中学校に学び支援教室「ほっとルーム」の設置
別室登校生徒に対して専任教員を配置
- 児童生徒学校適応指導教室仙南けやき教室（白石市）への通所委託

4 魅力ある教育環境づくり

（１）教育施設整備計画に基づく安心して学べる学習環境整備の推進

（小中学校施設維持修繕事業）（小学校施設改修事業）（小中学校就学環境整備事業）

- 施設維持修繕事業費 小学校 35,692,129 円 中学校 28,619,305 円
北中校舎共用部床修繕、西中・北中プールろ過装置修繕、玉小給水管修繕
南小特別支援学級教室空調設備更新、岩小体育館ギャラリーカーテン更新
西中運動場アリーナ床修繕、南小1年生教室床修繕 等
- 小学校施設改修事業
西小校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅰ期）
- 就学援助費の支給
小学校（合計）20,077,243 円 中学校（合計）16,991,164 円
- 特別支援教育就学奨励費の支給
小学校（合計）2,263,606 円 中学校（合計）1,367,380 円

（２）児童生徒一人ひとりに対応できるICT教育環境整備の推進

（小中学校情報教育推進事業）

- 教育委員会事務局職員によるICT機器活用及びICT教育推進の学校へのサポート
- 統合型校務支援システムによる公簿の完全電子化（令和4年4月～）
- 全普通教室でプロジェクター及び映写兼用黒板を活用した授業を実施
（整備 中学校：令和3年度、小学校：令和4年度、追加分：令和5年度）
- 岩沼市プレゼンテーションコンクールの開催（9月）
- 岩小と北中がJAET（日本教育工学協会）学校情報化「先進校」に、その他6校が

「優良校」に認定されたことから、岩沼市が「学校情報化先進地域」として認定を受ける（4月）

- 文部科学省のリーディングDX事業の指定を受ける（岩小・北中）
- 小学校の教師用指導書を教科書改訂にあわせて紙ベースからデジタルへ移行

（3）外国語指導助手（ALT）活用の充実をはじめとする英語教育環境整備の推進

（外国語指導助手招致事業）

- 外国語指導助手（ALT） 6名配置
- 中学生イングリッシュ・キャンプ（7月）
- 小学生イングリッシュ・キャンプ（10月）
- デジタル教材による個別最適な学び

（4）教員が子どもと向き合う時間の確保（教育DX・働き方改革）

- 在校時間調査
教職員の1月あたりの勤務時間外の在校時間
「45時間未満達成」89.46% 「80時間以上」0%
- 統合型校務支援システムを活用した公簿の完全電子化（令和4年4月～）
- 「部活動ガイドライン」に基づいた部活動
- 学校事務共同実施
- 就学時健診会場を各小学校から総合体育館に変更（令和6年10月）

（5）学習支援ボランティアの活用と協働教育の推進

（宮城教育大学・仙台大学・東北福祉大学等との連携及び地域連携推進事業）

- 学生による岩沼学び塾（放課後及び夏季・冬季休業期間に実施）の支援

（6）家庭・地域社会に開かれた信頼される学校づくりの推進

（地域連携推進事業）

- 各学校で学校評議員を委嘱
- ふれあいパトロール隊員 81名登録

（姉妹都市高知県南国市訪問団との交流事業）

- 南国市から岩沼市へ訪問 8月25日～27日
（児童生徒10名、教員・教育委員会事務局職員9名）
玉小、玉中と防災学習等の交流活動、震災遺構山元町立中浜小学校等の見学
- 岩沼市から南国市へ訪問 10月29日～31日
（児童生徒8名、教員・教育委員会事務局職員8名）
南国市立白木谷小学校、北陵中学校と防災学習等の交流活動、防災タワー等の見学

(7) 家庭における学校教育への理解促進

- タブレット端末の持ち帰り学習と端末を活用した家庭学習
- 部活動の地域移行について啓発活動

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業の点検・評価

令和6年度は、児童生徒一人ひとりに寄り添う教育を基本に、学力の向上と豊かな人間性の育成に向けた取組を着実に進めた。

学力向上においては、教職員の継続的な研修をはじめ、学校指導助手や特別支援教育支援員を適切に配置し、個に応じたきめ細やかな指導を推進した。全国学力・学習状況調査では、仙台市を除く宮城県平均を上回る成果を挙げ、「思考力・判断力・表現力等」や「主体的に学習に取り組む態度」で全国平均を超えるなど、一定の学力向上が見られた。一方で「知識・技能」の更なる向上が今後の課題である。

また、家庭学習の習慣化を目指した学び塾や家庭学習支援の取組が、児童生徒の学習意欲や学習習慣の定着に効果を発揮した。学び塾では、小学生の約9割が「分かるようになった」と回答し、中学生でも学習の理解が深まったとの成果が見られ、家庭学習時間の増加にもつながった。

特色ある教育活動としては、各学校が地域資源を生かした学習やキャリア教育を実施し、体験を通じた学びを充実させた。特に、高知県南国市との姉妹都市交流や防災学習、進路や社会課題を考える授業を通じて、子供達の夢や目標を育むことができた。

心のケアや生徒指導の面でも、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、「あいるーむ」や「ほっとルーム」の運営を継続することで、不登校児童生徒や課題を抱える児童生徒への支援を充実させた。

さらに、ICT教育の推進や教育DXの取組により、タブレット端末を日常的に活用した学習環境が定着し、教員の働き方改革も進展した。教職員の時間外勤務時間の縮減に一定の成果があり、教育活動に専念できる環境づくりが着実に進んでいる。

教育施設整備についても、学校施設の適切な修繕や改修を進め、安全で快適な学習環境の維持に努めた。

総じて、令和6年度は、学力向上、心のケア、特色ある教育活動、ICT教育、働き方改革の各分野において、事業を計画的かつ効果的に推進することができた。このことから、「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に係る取組・事業は概ね順調であると判断した。

引き続き、課題への的確な対応とさらなる充実を図り、児童生徒が安心して学べる魅力ある学校づくりを進めていく。

学びと潤いにみちた地域社会の実現

1 生涯学習推進体制の整備

(1) 家庭・地域・学校が連携した協働教育の推進

(生涯学習推進事業)

- 社会教育委員会議の開催 2回開催(5月・1月)
- 生涯学習振興事業助成金の交付 3団体 238,000円
- 文化振興報奨金の交付 12件 200,000円
- 岩沼市地域連携担当者会の開催 1回開催(8月)
- Happy チャイルドカレンダー作成(編集会議) 毎月1回発行

(2) 生涯学習・社会教育に携わる人材育成

(生涯学習推進事業)

- ジュニア・リーダー初級研修会の開催 8名参加
- コラボスクール(里山体験学習)の開催 6回開催
- 電子顕微鏡体験教室(ミクロの世界をのぞいてみよう!)の開催
3日間実施58名参加
- ふるさとの味、はらこ飯を味わおう!の開催(南小6年生)
- 二木の松俳句大会の開催(小学5年生~中学2年生対象) 出展作品数1,301点
- 「スタンウェイに触れてみよう」の開催 3日間実施

(3) 持続可能な学びの循環

(生涯学習推進事業)

- 東部のびやか教室の開催 17名参加
- 西部のびやか教室の開催 48名参加
- 南部のびやか教室の開催 30名参加
- 北部のびやか教室の開催 21名参加

2 生涯にわたる学習機会の充実

(1) 家庭教育支援の充実

(生涯学習推進事業)

- 子育て、親育ち講座 3回開催
- 早寝早起き朝ご飯啓発活動 10回実施

(2) 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進

(青少年室相談事業)(生涯学習推進事業)

- 相談件数 162件

○街頭巡回指導件数	30件
○小中高校生への声掛け件数	486件
○子ども110番の家の設置件数	222カ所
○少年の主張の開催	8名参加
○二十歳を祝う会の開催	320名参加
○青少年健全育成推進団体補助	
① 岩沼市ジュニア・リーダー協議会	8,000円
② 岩沼地区少年補導員協会	11,000円
③ 健やかな子どもを育てる岩沼市民会議	284,000円
④ 岩沼市子ども会育成連合会	7,000円
⑤ 岩沼市父母教師会連合会	15,000円
⑥ 岩沼小学校区子ども会育成会	13,000円
⑦ 玉浦地区子ども会育成会	13,000円
⑧ 岩沼西子ども会育成会	13,000円
⑨ 岩沼南小学校区子ども会育成会	13,000円

(3) 読書活動の推進

(図書館蔵書整備事業) (図書館運営事業)

○利用登録者数：14,482名	貸出者数：69,169名	総貸出数：241,869冊
○入館者数：117,226名	蔵書数：217,533冊	
○市民図書館運営協議会	1回開催	
○読み聞かせボランティアステップアップ講座	75名参加	
○読み聞かせ研修会(2回)	38名参加	
○第13回文化講演会	45名参加	
○手作り絵本教室	11名参加	
○豆本づくり・書庫見学ツアー	11名参加	
○小学生向け特別おはなし会	19名参加	
○朗読のひととき	26名参加	
○本のミニリサイクル市	5日間にわたり開催	
○読み聞かせサークルによるおはなし会(月1回~2回開催)		

3 社会教育施設の有効活用

(1) 社会教育団体活動の推進と支援

(生涯学習推進事業)

○社会教育団体補助	
① 岩沼市婦人団体連絡協議会	81,000円
② ガールスカウト	5,000円
③ ボーイスカウト	5,000円

(2) 社会教育施設の長寿命化対策の推進（環境の整備）

○施設利用状況

	開館日数	利用件数	利用者数	1日平均利用者数
市民会館	345	644	45,186	131
中央公民館	345	898	12,193	35

○施設修繕

- ①市民会館 舞台機構修繕、大ホール客席設置等 54,659,000 円
2階男子トイレ修繕、大ホール舞台照明設備等 6,685,140 円
- ②市民図書館 修繕費 1,122,484 円

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業の点検・評価

「放課後子ども教室（のびやか教室）」や「里山体験学習」では、学校と連携して、より多くの地域住民の方々に子供達の成長を支える活動へ主体的に参加していただいたことによって実施することができた。

また、市家庭教育支援チーム「ほっぺの会」の活動を支援し、県教育委員会主催の研修会への参加や就学時健診に併せて「子育て親育ち講座」を実施し、地域全体での家庭教育支援の活性化を図ることができた。今後も各小学校において「早寝早起き朝ご飯啓発活動」を実施するなど積極的な活動を計画し支援していく。

「岩沼に愛着を持つ人材育成事業」として実施している「ふるさとの味、はらこ飯を味わおう！」や「二木の松俳句大会」、「ミクロの世界をのぞいてみよう！」においても、多くの市内小中学生が参加し、興味深く取り組み、学習の充実を図ることができた。

青少年健全育成として、子ども会育成事業への支援やジュニア・リーダーの育成支援をはじめ、青少年室の運営、該当巡回指導等、関係団体と連携しながら地域コミュニティの振興と子供達の安全・安心な環境づくりに努めた。

図書館については、図書館の利用促進と市民の読書活動推進のための各種行事、研修会等を実施した。特に児童の読書活動を支援するため、行事開催に当たり工作や書庫見学などを取り入れ、読書の楽しさを知るきっかけづくりに努めた。また、読み聞かせボランティア育成のための講演会や研修会を実施し、好評を得ることができた。

人口減少やコミュニティの衰退を受けて、住民参画による地域づくりがこれまで以上に求められる中、学校・家庭・地域が協働・連携することで、市民の学習環境の整備、学習機会を充実させる取組は、一定の成果をあげており、「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業は概ね順調と判断した。

かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興

1 芸術文化活動の推進

(1) 芸術文化鑑賞機会の確保と自主活動の奨励

(芸術文化振興事業)

○文化事業協会の主催事業の開催 9事業11公演 入場者数延べ 5,044名

(2) 地域文化活動の推進

(芸術文化振興事業)(生涯学習市民活動支援事業)(中央公民館学級・講座運営事業)

(生涯学習推進事業)

○第35回市民文化芸術祭の開催 343名(団体30、個人9名)の参加

2日間で1,614名の来場者

○第44回いわぬま市民交流フェスティバルは、大ホール・中ホール舞台機構改修工事及び大ホール客席改修工事により中止

○中央公民館学級・講座の開催 9教室203名の参加 延べ人数 1,061名

○中央公民館玉浦講座の開催 4教室 86名の参加 延べ人数 371名

○中央公民館西講座の開催 6教室180名の参加 延べ人数 948名

○社会教育団体登録数 129団体

(3) 部活動支援事業の充実(部活動地域移行の段階的な推進)

○文化部活動支援:吹奏楽9種類の楽器の演奏指導(クラリネット、トランペット、サクソ、フルート、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、パーカッション) 年間10回開催

○文化部活動支援:美術(動画活用)講座 年間6回開催

2 文化財の保護と活用の推進

(1) 文化財の保護思想の普及と保護体制の整備

(文化財保護一般管理)

○文化財保護委員会 2回開催

○ふるさと展示室において文化財企画展の開催(第43回~第45回)

○出前授業 19回開催

○文化財めぐり 石巻市博物館ほか 32名参加

(2) 文化財や歴史資料の保存・活用の推進

(文化財保護一般管理)

○岩沼市史活用事業講演会 2回開催

○市史を活用したパネル展 7回開催

(3) 民俗芸能の保護・支援

(文化財保護一般管理)

○指定文化財等補助 ①竹駒奴 9,000円

②早股熊野神楽 9,000 円

(4) 開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査の推進

(文化財発掘調査事業)

○開発計画と埋蔵文化財の関わりについての協議書の提出件数 19件

(5) 原遺跡発掘調査の推進

(文化財発掘調査事業)

○原遺跡第9次発掘調査による新たな知見及び現地公開の実施

- ・ 7世紀半ばに阿武隈川への南側傾斜部で材木塀や大溝による土地区画が形成
- ・ 8世紀代には主要区画の北辺溝沿いに東西方向の建物が建築
- ・ 建物の配置に関して高度な計画性を有することが判明
- ・ 現地公開見学者延べ人数 90人

○秋田県・山形県考古学会合同シンポジウムでの発表

3 生涯スポーツの振興

(1) スポーツ団体及び指導者の育成・支援

(スポーツ振興事業)

- スポーツ団体補助
 - ①岩沼市体育協会 770,000 円
 - ②岩沼市スポーツ少年団本部 47,000 円
- 国体出場者報償 8名 80,000 円
- 全国障害者スポーツ大会出場者報償 該当者なし
- スポーツ振興報奨金 168件 3,060,000 円

(2) 部活動支援事業の充実（部活動地域移行の段階的な推進）

(スポーツ振興事業)

- 運動部活動支援：拠点型8種目（バドミントン・陸上競技・卓球・ソフトテニス、バスケットボール、野球、バレーボール・サッカー）
前期（4月～9月） 88回、後期（10月～3月） 88回
- 運動部活動支援：派遣型4校5種目 岩中：バドミントン・卓球、西中：バドミントン・剣道、北中：バレーボール、剣道、玉中：バドミントン、野球
前期（4月～9月） 88回、後期（10月～3月） 88回
- 休日の部活動の段階的な地域移行の取組
 - ・ 啓発活動、説明会の実施
 - ・ 休日スポーツ教室の開催：6種目（陸上、バドミントン、卓球、野球、サッカー、バスケットボール）
 - ・ 部活動の地域移行に関する相談窓口と指導者登録窓口の運営

(3) スポーツ施設活用の促進（学校施設開放による活用・支援）

(スポーツ振興事業)

- 学校開放登録団体 ・登録団体数 58団体
- 夢あこがれ事業：ベガルタ仙台サッカー観戦

- (令和6年10月19日開催 ユアテックスタジアム仙台)
- ・市内小中学生、教員、教育委員会職員 42名参加
- いわぬまスポーツフェスティバル(令和6年10月26日開催)
- ・279名参加

(スポーツ施設管理事業)(スポーツ振興事業)

- 旧岩沼市民体育センター解体工事設計
- 岩沼市総合体育館加圧式給水ポンプ修繕
- 岩沼市総合体育館空調設備電源修繕
- 市長杯総合スポーツ大会の開催
- 主な施設の利用状況

	総合体育館	陸上競技場	多目的グラウンド
利用者数	92,563	30,206	16,932

(4) 市内開催の全国的、全県的大会の支援

(スポーツ施設管理事業)

- 第36回全国高校生銃剣道大会(令和6年7月27日開催 総合体育館)
- ・職員が大会役員として参加し、大会運営の支援。 201名参加

「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業の点検・評価

公民館では、各種教室・講座を開催し、学びを通して新たな人のつながりを築く場として機能した。また、社会教育団体に対し、活動の場の提供と費用負担面の支援措置を講じるなど生涯学習の促進に努めた。

市民会館においては、合唱、クラシック音楽、演劇などの企画を支援・開催し、市民主体の地域文化活動の活性化に貢献した。

中学校の文化部の部活動支援では、吹奏楽と美術の基礎指導・支援に取り組んだ。次年度以降も引き続き部活動の地域移行(展開)に向けた継続的支援に努める。

文化財保護・活用については、特に原遺跡第9次調査において、土地区画の形成時期や建物の配置などに関する新たな知見を得ることができた。

市民の多様な文化・芸術活動への支援、および文化財の保護等に関する取組については、前述のとおり一定の成果を得たものと判断している。

社会教育施設に関しては、令和6年4月に用途廃止した旧岩沼市民体育センターの解体工事の設計に着手した。また、経年劣化のため動作不良の状態にあった総合体育館の加圧式給水ポンプを修繕するなど、市民が安全に安心して利用できるよう各施設の適切な維持管理に努めた。

第36回全国高校生銃剣道大会の開催にあたっては、関係各所と連携して計画的に大会運営の支援を行うことができた。岩沼市が会場となる最後の大会となったが、本大会をきっかけに交流人口の増加等につながった。

スポーツ振興の面では、指定管理者制度を活用した市内8つの体育施設の管理運営につい

て、指定管理者による施設整備や市民に対するサービス向上が適切に行われており効果は大きいといえる。市民の生涯スポーツ振興のため、指定管理者と協力していわぬまスポーツフェスティバルを開催し、多くの方々にご参加いただいた。業務委託による運動部の部活動支援においても、総合体育館を拠点として4中学校合同の指導を行ったほか、指導者を各校へ派遣する等、継続的な活動を行うことができた。今後も指定管理者と連携して市内体育施設の管理・運営に努めていきたい。

令和5年10月から、休日における中学校の運動部活動の段階的な地域移行の取組を進めており、令和6年度は、野球、サッカー、バスケットボールを追加した6種目において、中学生を対象に休日スポーツ教室を開催するとともに、相談や指導者登録の窓口を運営設置する等、体制整備に取り組んだ。

上位大会に出場した市民に交付するスポーツ振興報奨金は、事務の簡素化と市民への周知に努めた結果、交付件数が168件となり、スポーツ活動支援策の一つとして多くの方に活用いただいた。

市民のスポーツ環境の整備、及び市民がスポーツに親しむ機会の提供に関する取組は、一定の成果をあげており、「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業は概ね順調と判断した。

IV 学識経験者の意見

柄澤 一彦氏（元公立小学校長）

岩沼市教育委員会が令和6年度に実施した主な事務事業の執行状況についての点検・評価結果について、所見を述べる。

1.たくましさやさしさを培う学校づくりの推進について

児童生徒一人一人に寄り添う教育を基本として、学力の向上及び豊かな人間性の育成啓発に向けた取り組みが一層の充実に向けて着実に展開されていることに敬意を表する。

学力向上に関して、全国学力・学習状況調査で一定の向上の成果が見られたことは喜ばしく、先進的なICT機器を活用した教育の推進や教育DXの取組、外国語指導助手や学校指導助手・特別支援教育支援員の潤沢な招致・配置など、多年にわたって積み上げてきた事業や取組が、ここに1つの成果として実を結んだものと考え評価したい。今後更に、学習状況調査も含めて調査結果の分析を継続し、伸ばすべきは伸ばし克服すべきは克服していられるよう期待したい。ICT機器を活用した教育の推進にあたっては、端末を使ってどのような取組や授業を行ったのか、今後更に実践内容を蓄積しながら、効果と課題の両面から評価し合い、教職員のICT教育研修の充実に取り組んでいていただきたい。同時にICTセキュリティーに関して、子どもにも最低限のリテラシー（適切な理解・解釈・分析）を持てるよう充実した指導を展開していただきたい。

また、家庭学習の習慣化の定着に成果が見られたとの分析があった。デジタルドリルの活用など、子供達がそれぞれにタブレット端末を利活用している様子も想像される。子供達が、学習・生活の両面にわたって、夢や目標に近づくために計画を立て少しずつでも前進しようとする気持ちや態度を身に付けさせていくことが大切であると考え。個別の学習支援を行う事業の推進とともに、家庭での生活や学習の良い習慣づくりに関して今後も継続して支援していただきたい。

子供達の夢や目標をはぐくむ本市ならではの特色ある教育活動が、多種多様に展開され充実が図られている。これらの活動は、子供達にとって、認知能力のみならず近年多くの文献で取りあげられている非認知能力の形成においても効果的な機会となっている。両能力の相互協調的な発達に寄与する取組を、例えば子どもの社会参加などという側面も踏まえるなどしながら、今後更に充実発展させていただきたい。

不登校や課題を抱える児童生徒への支援については、体制整備に努力している。一人一人の児童生徒が大切にされていることを実感でき社会的自立に向かって行けるよう、全教職員が寄り添い続け、多様な学びの機会の創設や相談活動の充実、家庭や関係機関間の連携強化など、これまでの取組の努力について更に努力を重ねて取り組んでいくようお願いしたい。

上述した着実な取組の推進を下支えするものとして、安心・安全を生む教育施設の迅速で的確な修繕整備や多様で魅力的な教育環境整備の推進とともに、各種の部会や研修会の充実を高く評価したい。特に、年度初めに市内の全教職員が一堂に会し「教職員研修会」が開催されていることは、新任や転入してきた教職員にとっても、市が掲げる学校づくりの方針の根幹を共に理解し合い、学力向上と豊かな人間性の育成の着実な推進に向かう具体的な方向性を理念の共有のもとに共

に展開し合っていく上で大変有意義であると考えている。核となる全員研修会の実施を経ることによって、その後にかかれる部会・研修会がそれぞれに充実し且つ要所で有機的に連関を形成し、一つ一つの教育活動が的外すことなく着実な成果を得て推進されるに至ったと高く評価したい。このような教職員の協働的な職務の遂行に関与する系統性のある組織体制の充実を今後も継続して発展させていっていただきたい。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

地域の方々や団体等が積極的・主体的に協力・参加・参画されて、地域と学校との協働活動として様々な事業が推進され続けていることは大変素晴らしい。地域全体で子供達の成長を支えていこうとされている様子は、大変理想的で貴重であり、先細りのないという配慮の上からも、これらを市の広報に限らず様々な通信媒体を通して広くこまめに紹介していくことも望まれるのではないかな。

「里山体験学習」「ふるさとの味、はらこ飯を味わおう(体験試食会)」「二木の松俳句大会」の開催は、愛郷教育の一環として大変価値があると考えている。こうした機会が全くないことを思えば、これらの事業がどれほど高い価値や効果を有しているか容易に想像がつく。一つ一つの事業について、或いは今後市予算等との兼ね合いから拡大縮小等の見直しが懸かることも予想されないわけではないが、それぞれの目的と効果を明確に洗い出した上で市民にも広く共有されて展開されていくことが求められてくる。例えば「二木の松俳句大会」では、兼題の範囲が長く固定的であったが、市の魅力をお子達の目線で幅広く捉えられるよう「岩沼の魅力発見」などという条件下で句題を広く捉えさせる「半自由題」のような募集があってもよいかもしれない。子供達が捉えた作品が市の魅力発見に少しでも貢献できるとよい。多様な発想で、広く市民に支持され浸透していくような事業が更に展開されるとよいと考える。

青少年健全育成においては、関係団体との連携を強化しながら主要な事業が展開されている。読書活動の推進においては、図書館の利用促進と併せて、特に子供達が読書の楽しさに気づけるよう創意工夫して行事が開催されていることに敬意を表す。近年の全国学習状況調査の質問紙の中の「家にある本の冊数」調査から、冊数が多いほど問題の正答率は高く、学力との相関関係があることが伝えられている。個々の経済的背景は様々だが、公的機関としての市図書館が、何らかの事業展開でこれに関わっていくことが望まれる。家庭・学校・地域・図書館等が連携しながら、児童・生徒が読書に親しむ機運を高めるとともに、読書を通して心豊かな生活ができるように施策や環境の整備に今後も努めていっていただきたい。

3. かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興について

市内文化施設の活用事業に関しては、社会教育団体に対する支援や多様な教室・講座の企画開催を通して生涯教育の促進、地域文化活動の活性化に努めている。下記の部活動支援にも関連するが、若い世代の参加や来場を促す企画等についても、広く工夫を図られるよう期待する。

学校部活動支援については、地域移行が段階的に進められており、着実に取り組んでいる。今後も課題が予想されるが、体制の整備充実に向けた継続的な取組に期待する。

文化財の保護と活用については、出前授業の開催数を増やすなど着実な推進が図られている。原遺跡からは毎年新知見の獲得があり、市民は楽しみにしている。今後も、市の文化財に理解を深めるための様々な取組がなされるよう期待したい。

社会教育施設やスポーツ施設の解体や修繕、維持管理・運営において、市民一人一人が文化とスポーツに親しみ享受できる環境の整備や機会の提供等について、不断に努力されていることに敬意を表する。

山内 紀子氏（元公立小学校長）

岩沼市教育委員会が令和6年度に実施した主な事務事業の執行状況についての点検・評価結果について、所見を述べる。

1.たくましさやさしさを培う学校づくりの推進について

教育のDX化に象徴されるような教育環境の変化を踏まえ、先見の明をもって授業改善及び人的・物的環境の整備に努め、実践を積み重ねてきていることがうかがわれる。その基本に、「児童生徒一人一人に寄り添う教育」を据えていることは、これらの取組を一過性のものにしなないためにも大事であり、今後も大切にしていっていただきたい視点である。

学力向上においては、研修等による教員の指導力の向上、指導助手等の配置、学び塾等による学習支援など、様々な取組によって子どもたち一人一人の学びの意欲が向上していることは大変喜ばしいことであり、是非継続していくべき事業であると考え。また、ICT機器活用及びICT教育推進において、学校現場にすぐに駆け付け対応する教育委員会事務局職員の存在も大きい。今後も教育委員会と学校との連携によって、子どもたちの学びが一層充実するよう教育環境の整備に努めていっていただきたい。

夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開は、岩沼市の教育の大きな特色の一つである。様々な体験は、子どもたちの豊かな心の形成や社会性の育成等に寄与するものと思われる。ゆえに、いかなるヒト・モノ・コトに出合わせるかが大事になってくる。学校裁量の活動ではあるが、人材バンクなど、学校への情報提供ができる仕組みがあると各学校の活動の幅をより一層広げることができるのではないかと考える。

近年、不登校児童生徒数の増加は深刻かつ重要な課題として捉えられている。岩沼市においても、「あいるーむ」や「ほっとルーム」「けやき教室」「リモートによる支援」等、学校内外に多様な学びの場が提供され、子どもが安心して学べる場として機能していることと思う。一方で、そのような場への通所すらかなわない子どもも多いと思われるので、家庭と連携しながら子どもたち一人一人に寄り添った対応を引き続きお願いしたい。

教員が子どもと向き合う時間の確保においては、早くから教員の働き方改革に着手し、成果を上げてきている。加えて、令和6年度実施の就学時健康診断の会場変更（各小学校から総合体育館へ）は、学校現場の負担軽減として教職員に実感をもって受け止められたことと思う。教育活動に専念できる環境づくりを一層推進し、生み出された時間を有効活用しながら教育の質の向上を図っていっていただきたい。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現

生涯学習推進体制の整備においては、のびやか教室やコラボスクール（里山体験学習）、はらこ飯を味わう体験など、地域人材・地域素材を生かした取組が順調に開催されている。地域を巻き込んだ組織的で系統性のある取組は、子どもたちを変容させるばかりでなく、地域住民の活力を高め

たり子ども理解を促進したりすることにもつながっていくと思われるので、今後も継続して取り組んでいただきたい活動である。

青少年健全育成活動の推進においては、青少年室相談事業の相談件数や小中高生への声掛け件数が昨年度よりも増加していることが気になるが、相談窓口の認知や多くの大人が見守っているという環境は大事であるので、子どもや保護者への支援体制の充実に引き続き取り組んでいただきたい。

市民図書館における読書活動推進の取組は、読み聞かせ研修会や手作り絵本教室、豆本づくり等の参加型体験教室の企画など、事業内容に創意工夫が感じられる。また、読書離れが進んでいると言われる中、利用登録者数や入館者数が増えたことは喜ばしいことである。事業開催に当たっては、昨年度より全体的に参加人数が増えているので、今後も住民への周知方法を工夫し、より多くの住民が参加されることを期待したい。

3. かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興

中央公民館学級・講座運営事業は、学級数の増加及び西講座の参加数の増加から、ほぼ順調に展開されていると思われる。公民館は、地域コミュニティの生涯学習拠点となる所であり、住民同士のつながりを深める場でもあるので、今後も地域のニーズに合った教室・講座を積極的に開設し、地域活性化の一助となるよう取り組んでいっていただきたい。

文化財の保護と活用の推進においては、歴史的・文化的資源を有効に活用し、施設内外での催事及び普及活動を積極的に展開している。特に、出前授業は飛躍的に回数が増え、歴史的・文化的遺産に対する子どもたちの興味・関心を高めることに大いに貢献していると思われる。担当者の努力に敬意を表したい。

休日の部活動の段階的な地域移行の取組においては、休日のスポーツ教室の開催を3種目増やすなど、順調に推進されていることがうかがえる。部活動地域移行の今後の取組については人材、予算、場所の確保等、難しい局面もあると思うが、学校、家庭、外部指導者との間で地域移行の意義について常に確認しながら、持続可能な運営体制が整えられるように丁寧に進めていくことが望まれる。

生涯スポーツ振興の面では指定管理者制度を活用し、施設の管理運営及び催事の開催など、市民が安心して安全に体育施設を活用しスポーツを楽しめる環境づくりに努めてきている。市民の声も拾い上げながら、より利用しやすい施設となるよう、今後も連携を密にして経年劣化対応などに取り組んでいっていただきたい。

岩沼市教育委員会点検・評価報告書（令和6年度実績）

令和7年8月発行

発行：岩沼市教育委員会

編集：岩沼市教育委員会 教育部学校教育課

〒989-2480 岩沼市桜一丁目6番20号

電話 0223-23-0728 FAX 0223-24-0897

メール gakkou@city.iwanuma.miyagi.jp